



## 祝 辞

衆議院議員

中山 太郎

---

本日は、大阪建設機械リース協同組合の創立50周年記念式典が関係各位のご列席のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

平素は、私の政治活動に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本日折角、お招きをいただきましたが、東京での公務のためこの記念式典へ出席できませんことをお詫び申し上げます。

大阪建設機械リース協同組合におかれましては、昭和32年に設立され、50年という長きにわたり、大阪府の建設関連業界に整備の整った機械を安定的に供給し、ニーズの変化に対応され、社会資本の整備という大きな役割を担い、組合がこれほどまでに発展・充実するまでに至った北野理事長をはじめ、歴代の役員の方々のご努力や組合員皆様のご尽力に敬意を表する次第でございます。

わが国は現在、時代の大きな変化の中で、財政再建、医療制度、年金制度など様々な面で先の見えない、不確実な状況の中にありますが、これまで経済、社会全般にわたる構造改革に取り組むことによって、一時期の景気の停滞からは抜け出し、雇用は拡大するなど、一定の成果が上がってきております。

しかしながら、わが国の経済成長の原動力である中小企業の多くが景気回復の恩恵を受けられずにいます。下請け取引の適正化や事業の円滑化、中小企業の生産性向上に向けた取り組みなどを強力に推進し、大企業と中小企業の調和のとれた成長が必要であり、将来のあるべき日本の姿を見据え、国民の皆様が目線に立った改革を行って行かなければなりません。

建設業界にとりましては近年、非常に厳しい時代が続いておりますが、建設機械レンタル業界は、国土建設に寄与する役割が年々増加しており、その責任は大変大きいものであります。

また、昨年は、大阪府と「災害時における応急救助用資機材等の供給協力に関する」協定を締結し、このことは大阪府民にとって誠に心強いかぎりであり、改めてお礼を申し上げます。引き続き建設機械の安定供給と大阪経済の発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、この50周年を契機とされ、貴組合の今後益々のご発展と本日ご参集の皆様方のご健勝とご商売の繁栄を祈念申し上げ、私のごあいさつとさせていただきます。